



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
コード番号 2883 URL <https://www.dai-rei.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 高付 広昭
問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員（氏名） 黒川 岳夫（TEL）03(3536)1551
管理統括本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	6,011	0.2	60	△54.3	51	△58.3	35	△61.9
2026年3月期第1四半期	5,998	△6.4	132	△35.1	122	△45.7	92	△33.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.04	—
2026年3月期第1四半期	15.74	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	11,295	8,507	75.3
2026年3月期	11,313	8,823	78.0

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 8,507百万円 2026年3月期 8,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	12,373	0.7	339	27.7	340	23.5	228	18.5	39.00
通期	25,200	0.6	780	18.1	780	12.5	525	8.8	89.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	6,008,300株	2026年3月期	6,008,300株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	149,527株	2026年3月期	149,527株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	5,858,773株	2026年3月期1Q	5,905,417株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用所得環境の改善が続き、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、各国の政策動向や中東情勢などの地政学リスクの高まりに加え、為替相場やエネルギー価格の変動など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、原材料価格の上昇に加え、人件費や物流費の増加を背景として、商品価格の改定が継続的に行われております。このような環境で、消費者の節約志向は依然として強く、引き続き、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況のもと当社は、安価で価格競争力のある骨なし魚やタイ生産「鶏」を拡販するなど、積極的に営業活動を進めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、ユーザーの低価格志向に沿った安価な商品の拡販に努めたことなどにより売上高2,206,837千円（前年同期比6.0%増）、ミート事業におきましては、価格競争力のあるタイ産「鶏」の楽らく匠味製品の拡販などにより売上高623,430千円（前年同期比4.7%増）、その他事業におきましては、すし海老やえびフライなどえび商品などの拡販に努めましたが増収には至らず売上高3,181,555千円（前年同期比4.2%減）となりました。これにより当期の売上高は6,011,823千円（前年同期比0.2%増）となりました。

損益面につきましては、直接貿易など仕入コスト削減に引き続き取り組んでまいりましたが、粗利の低い商品の販売増加などにより粗利率は当初想定を下回りました。また、主要な経費である運賃や保管料は、売上や在庫の増加に伴い計画比微増となり、営業利益は60,688千円（前年同期比54.3%減）、経常利益は51,043千円（前年同期比58.3%減）、四半期純利益は35,387千円（前年同期比61.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比較して18,346千円減少し、11,295,462千円となりました。これは主に商品が365,661千円増加した一方で、現金及び預金が400,335千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末と比較して298,197千円増加し、2,788,256千円となりました。これは主に未払法人税等が47,730千円、流動負債に含まれる未払金が55,901千円減少した一方で、買掛金が369,839千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末と比較して316,543千円減少し、8,507,205千円となりました。これは主に四半期純利益を35,387千円計上した一方で、配当金の支払を351,526千円行ったことにより利益剰余金が316,138千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の将来予想につきましては、2026年5月8日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,577,896	3,177,561
受取手形及び売掛金	3,883,581	3,930,000
商品	2,751,005	3,116,667
その他	100,457	89,878
流動資産合計	10,312,939	10,314,107
固定資産		
有形固定資産	657,019	645,820
無形固定資産	112,663	104,907
投資その他の資産		
その他	1,314,239	1,313,680
貸倒引当金	△1,083,053	△1,083,053
投資その他の資産合計	231,185	230,626
固定資産合計	1,000,868	981,355
資産合計	11,313,808	11,295,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,579,089	1,948,928
未払法人税等	77,700	29,969
賞与引当金	40,644	35,434
役員賞与引当金	—	1,839
その他	426,692	430,495
流動負債合計	2,124,126	2,446,667
固定負債		
退職給付引当金	260,515	267,891
その他	105,417	73,697
固定負債合計	365,932	341,589
負債合計	2,490,059	2,788,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	6,520,049	6,203,910
自己株式	△299,959	△299,959
株主資本合計	8,816,865	8,500,727
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,883	6,478
評価・換算差額等合計	6,883	6,478
純資産合計	8,823,749	8,507,205
負債純資産合計	11,313,808	11,295,462

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,998,993	6,011,823
売上原価	5,067,162	5,137,181
売上総利益	931,831	874,642
販売費及び一般管理費	799,140	813,953
営業利益	132,690	60,688
営業外収益		
受取賃貸料	2,244	2,244
その他	321	426
営業外収益合計	2,565	2,670
営業外費用		
賃貸収入原価	1,284	1,274
為替差損	10,590	10,830
その他	869	210
営業外費用合計	12,744	12,315
経常利益	122,511	51,043
特別利益		
固定資産売却益	—	6,011
特別利益合計	—	6,011
税引前四半期純利益	122,511	57,054
法人税等	29,582	21,666
四半期純利益	92,929	35,387

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(金融商品会計に関する実務指針の適用)

「金融商品会計に関する実務指針」(移管指針第9号 2025年3月11日)を当第1四半期会計期間の期首から適用しております。これによる、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、業務用冷凍食品卸売事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	16,312千円	13,966千円